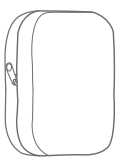
IP-PTT
A902

取扱説明書 V3

j.mobile

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 1 2013-09-06 오후 5:54:

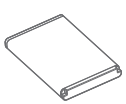
構成品



1 ポーチ

2 IP-PTT A902

3 バッテリーカバー用
ミニドライバ



4 バッテリー

5 Micro USB ケーブル
& 電源アダプタヘッダ

6 有線PTTマイク
+イヤホン

7 SIMカード

8 取扱説明書

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 2 2013-09-06 오후 5:54:

目次

構成品 2
目次 3
安全上のご注意 4
ご利用の準備 11
- 各部の名称と機能 11
- バッテリーの取り付け／取り外し 12
- SIMカードやMICRO SDカードの取り付け／取り外し 14
- 充電する 15
- 電源ON／OFF 16

製品使用 17
- タッチパネルの基本操作 17
- 画面ロックの解除 18
- 通知パネル 19
- MOTOTALKのアカウント登録 19
- PTT無線通話 20
- 連絡先 27
- 設定 28
- セキュリティ 29
- リセット 31
- 製品仕様 32

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 3 2013-09-06 오후 5:54:

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。各事項は以下の区分に分けて記載しています。

危険

この表示は「人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

警告

この表示は「人が死亡または重傷を負うことが想定される内容」を示しています。

注意

この表示は「人が傷害を負うことが想定される内容や物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

本体、バッテリー、充電用機器、SIMカード、周辺機器共通

危険

- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。
- 高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
- ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
- 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。
- 金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、充電の際にコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 4 2013-09-06 오후 5:54:

警告

- 落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。
- 乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

注意

- 直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。
- 使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災・故障・傷害の原因となります。
- 外部から電源が供給されている状態の本体、指定のACアダプタに長時間、触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。
- 本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となる場合があります。
- コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
- バッテリーカバーを外したまま使用しないでください。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。
- 本体からバッテリーカバーを外したまま、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 5 2013-09-06 오후 5:54:

- 使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器をコンセントから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、バッテリーカバーを外して、お客さまセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、お客さまセンターまでご連絡ください。
- イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。
- イヤホンなどを本製品に挿入し音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。
- 充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。

本体について

警告

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。本製品の充電などのためケーブル接続を行った場合は、操作はできませんが電源はオンになります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域ではケーブル接続を行わないようご注意ください。
- 高精度な電子機器の近くでは、本製品の電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）
- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、ご注意ください。

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 6 2013-09-06 오후 5:54:

注意

- 自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。
- 皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。
- キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。
- ホイップアンテナやストラップなどを持って、本製品を振り回さないでください。傷害・事故や故障・破損の原因となります。
- 心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内部に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
- 通話・通信中などの使用中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・やけど・故障の原因となる場合があります。

バッテリーについて

危険

- バッテリーのプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせないでください。
- バッテリーを本製品に接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・火災・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理せず、接続部を十分に確認してから接続してください。
- 釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。
- 持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピンなど）などと接続端子が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。
- 分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。バッテリー内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や発熱・発火・破裂の原因となります。

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 7 2013-09-06 오후 5:54:

- 落としたり、踏み付けたり、破損や液漏れしたバッテリーを使用しないでください。液漏れや異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。
- バッテリーを水や海水・ペットの尿などで濡らさないでください。バッテリーが濡れると発熱・破裂・発火の原因となります。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。
- 液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。
- バッテリーは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しいバッテリーをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- ペットがバッテリーに噛みつかないようご注意ください。バッテリーの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。

充電用機器について

警告

- 指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。
- 指定の充電用機器の電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。指定の充電用機器が傷んでいるときや、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
- 指定の充電用機器のケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。
- 雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。落雷による感電の原因となります。
- お手入れをするときには、指定の充電用機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。
- 電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。
- 車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 8 2013-09-06 오후 5:54:

- 長時間使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。
- 水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグを抜いてください。

注意

- 風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で指定の充電用機器を抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。
- 充電は安定した場所で行ってください。傾いた所やぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にバイブレータ設定中はご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災・故障の原因となります。
- 指定の充電用機器の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。
- 本体からバッテリーを外した状態で指定の充電用機器を差したまま放置しないでください。発火・感電の原因となります。
- 皮膚に異常を感じたときはすぐに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

SIMカードについて

警告

- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にSIMカードを入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

注意

- SIMカードの取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。
- SIMカードを使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。
- SIMカードを分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 9 2013-09-06 오후 5:54:

- SIMカードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。
- SIMカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。
- SIMカードのIC(金属)部分を不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- SIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- SIMカードを折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。
- SIMカードを濡らさないでください。故障の原因となります。
- SIMカードのIC(金属)部分を傷付けないでください。故障の原因となります。
- SIMカードはほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。
- SIMカード保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。
- SIMカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 10 2013-09-06 오후 5:54:

ご利用の準備

各部の名称と機能

❶ 電源(ロック)キー
❷ 受信口
❸ 距離/光センサー
❹ メニューキー
❺ ホームキー
❻ フロントカメラ
❼ タッチスクリーン
❽ バックキー
❾ 発話口(マイク)
❿ イヤホンマイクジャックとUSBコネクタ
⓫ PTTボタン
⓬ 音量キー
⓭ カメラキー
⓮ スピーカー
⓯ 背面カメラ
⓰ スクリュー

電源(ロック)キー	長押しで電源ON／OFFします。画面ロック／ロック解除にも使用します。
ホームキー	ホーム画面を表示します。
メニューキー	現在の画面、またはアプリケーションに関連するオプションを開きます。
バックキー	1つ前の画面に戻ります。

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 11 2013-09-06 오후 5:54:

バッテリーの取り付け／取り外し

バッテリーの取り付け

1. バッテリーカバーを取り外す。

❶同梱されたミニドライバを使用して裏面のネジを反時計回りで緩めて、❷バッテリーカバーを取り外します。

2. バッテリーを取り付ける。

本体とバッテリーの端子部を合わせ、バッテリーを矢印の方向へ差し込みます。取り付けます。

3. バッテリーカバーを取り付ける。

❶バッテリーカバーを取り付けて❷裏面の2本のネジを時計回りに締めます。

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 12 2013-09-06 오후 5:54:

バッテリーの取り外し

1. バッテリーカバーを取り外す。

❶同梱されたミニドライバを使用して裏面のネジを反時計回りで緩めて、❷バッテリーカバーを取り外します。

2. バッテリーを取り外す。

バッテリーを上から指先で矢印の方向に持ち上げて取り外します。

バッテリーを取り外すときには爪に怪我をしないようにご注意してください。

3. バッテリーカバーを取り付ける。

❶バッテリーカバーを取り付けて❷裏面の2本のネジを時計回りに締めます。

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 13 2013-09-06 오후 5:54:

SIMカードやMICRO SDカードの取り付け／取り外し

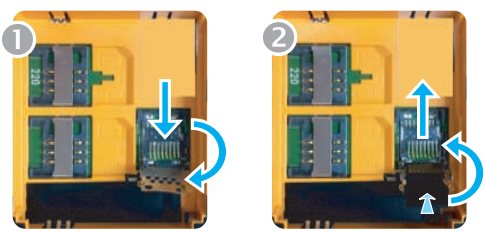
SIMカードを取り外したり、取り付ける前に携帯電話の電源をOFFにしてください。

SIMカードやMICRO SDカードの取り付け

1. バッテリーカバーを取り外す。
2. バッテリーを取り外す。
3. SIMカードを取り付ける。

右側のSIMカードスロットへSIMカードを取り付けます。SIMカードのIC(金属)面を下にして押し込みます。

4. MICRO SDカードを取り付ける。



❶左側のMICRO SDスロットカバーを矢印の方向へ押すとカバーが開きます。❷MICRO SDカードのIC(金属)面を下にして差し込んでカバーを戻して矢印の方向へ押します。

5. バッテリーカバーを取り付ける。

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 14 2013-09-06 오후 5:54:

SIMカードやMICRO SDカードの取り外し

1. バッテリーカバーを取り外す。
2. バッテリーを取り外す。
3. SIMカードを取り外す。

右側のSIMカードスロットのSIMカードを押しながら取り外します。

4. MICRO SDカードを取り外す。

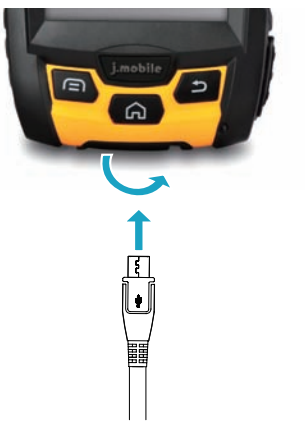
左側のMICRO SDスロットカバーを押すとカバーが開きます。
MICRO SDカードを取り外してカバーを戻して閉じます。

5. バッテリーカバーを取り付ける。

充電する

- お買い上げ時には、バッテリーは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。
- 充電には指定の充電用アダプタをお使いください。
- 充電する時はUSBコネクタのカバーを開けると防水ができません。充電する周辺の環境にご注意ください。

1. USBコネクタにUSBデータケーブルを接続します。
2. 充電用アダプタヘッダー、もしくはPCのUSBコネクタへ接続します。



[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 15 2013-09-06 오후 5:54:

電源ON／OFF

電源キーを押して電源ON／OFFします。

バッテリーを長期間使用していない場合は、バッテリーの充電を始めてからすぐ電源をONにすることができないことがあります。こういう場合には数分間充電してから電源をONにしてください。

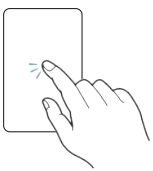
[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 16 2013-09-06 오후 5:54:

製品使用

タッチパネルの基本操作

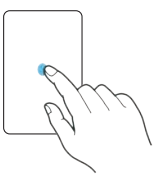
タップ/ダブルタップ

指で軽く触れ、すぐに離します。メニューやアイコンを選択することができます。2回連続で同じ位置をダブルタップします。 画面を拡大／縮小することができます。



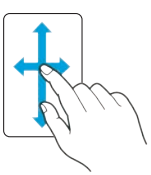
ロングタッチ

指を触れた状態を保ちます。特定の項目で隠れた機能を使用することができます。



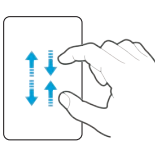
スライド

画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。 画面のページをめくることができます。



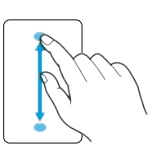
ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり、閉じたりします。画面を拡大／縮小することができます。



ドラッグ

画面に軽く触れたまま上下左右になぞります。項目やアイコンを移動することができます。



[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 17 2013-09-06 오후 5:54:

画面ロックの解除

本製品はユーザーが使わない状態(スリープモード)で一定時間が経過すると、自動的に画面ロックがかかるように設定ができます。画面ロックは設定によってスライド、パスワード、パターン、PINの方式があります。

- 画面ロックの設定方法はセキュリティの画面ロック設定を参考にしてください。
- 画面ロックをパスワード、パターン、PINで設定した場合には、忘れないようにご注意ください。画面ロックのパスワードを忘れた場合には、お買い上げいただいた代理店までご連絡ください。

スライド

画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。画面のページをめくることができます。

パターン

ロック画面で設定したパターンでスライドします。

パスワード

設定したパスワードを入力します。

PIN

設定したPIN番号を入力します。

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 18 2013-09-06 오후 5:54:

通知パネル

通知アイコンは通知パネルに表示されます。通知パネルでは通知アイコンの詳細を確認できます。
ステータスバーを下にスライドすると、通知パネルを表示します。

ステータスバー

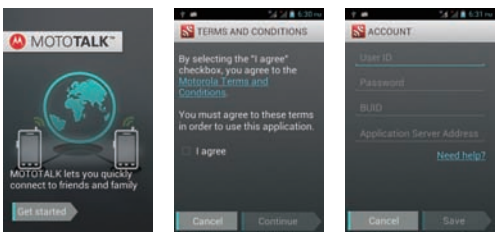
クイック設定ツール

MOTOTALKが実行されています。

通知パネル

MOTOTALKのアカウント登録

1. ホーム画面で をタップします。
2. MOTOTALKが始まります。
3. Get startedをタップします。
4. agreeをチェックしてContinueをタップします。
5. アカウント情報を入力してSaveをタップします。



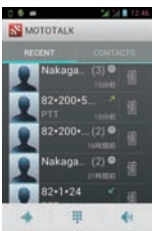
6. MOTOTALKを実行します。

アカウント情報が分からない場合には、お買い上げいただいた代理店までご連絡ください。

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 19 2013-09-06 오후 5:54:

PTT無線通話

ホーム画面で をタップしてMOTOTALKを実行すると、PTT無線通話ができます。



RECENT　通話履歴一覧

CONTACTS　連絡先一覧

音量を調節します。

ダイヤルキーを表示します。

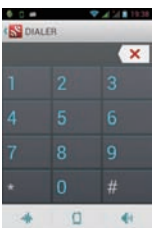
背面のスピーカーから声が聞こえるようにするスピーカーフォン機能を使います。

個別発信

1）ダイヤルを入力してかける

1. をタップします。

ダイヤル画面を表示します。



入力取消

発信アイコン

2. 受信者の番号を入力します。
3. をタップして、PTTボタンを押します。
または、PTTボタンを長押します。
4. 「ピー」と鳴って発信します。

無線通話番号の形式は「OOO(3桁)、またはOOOO(4桁)」＊「OOOO(4桁)」です。前の番号が同じの場合には後ろの4桁「OOOO」だけ入力して発信ができます。前の番号が違う場合、個別通話は可能ですが、グループ通話はできません。
例1）「123＊4567」の発信者が「123＊7890」の受信者に発信するとき、「7890」を入力します。
例2）「1234＊5678」の発信者が「1234＊8900」の受信者に発信するとき、「8900」を入力します。

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 20 2013-09-06 오후 5:54:

2) 連絡先を選択してかける

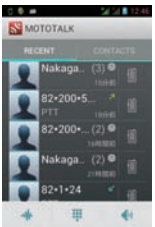
CONTACTS一覧と同期化した連絡先ではMOTOTOALKメニューが表示されます。

CONTACTS一覧と同期化する方法は自動同期化設定の内容を参考にしてください。

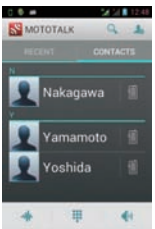
1. 連絡先で受信者を選んでタップします。
2. PTT contactをタップしてからPTTボタンを押します。
3. 「ピー」と鳴った後で、発信します。

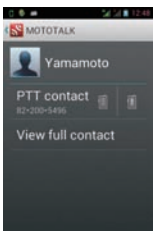
3) MOTOTALK一覧でかける

[方法1] RECENTの通話履歴一覧で (個別発信)を押してからPTTボタンを押します。



[方法2] CONTACTSの連絡先で受信者をタップすると詳細画面が表示されます。PTTボタンを長押したり、 (個別発信)をタップしてからPTTボタンを押します。





[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 21 2013-09-06 오후 5:54:

4) 最近受信者にかける

最後に通話した受信者と通話したい場合にはMOTOTALKが実行されている状態で、RECENTの一覧でPTTボタンを長押します。

CONTACTSでは直近の受信者に発信することができません。

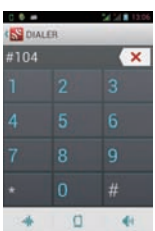
グループ発信

1) ダイヤルを入力してかける

1. をタップします。

ダイヤル画面を表示します。

グループ番号の形式は「＃＋番号」です。
例）＃104



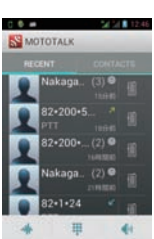
入力取消

発信アイコン

2. グループの番号を入力します。
3. をタップして、PTTボタンを押します。
または、PTTボタンを長押します。
4. 「ピー」と鳴って発信します。

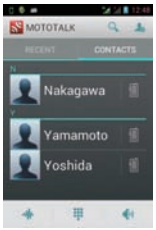
2) MOTOTALK一覧でかける

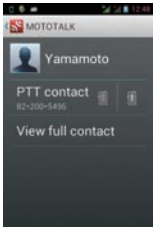
[方法1] RECENTの通話履歴一覧で（グループ発信）を押してからPTTボタンを押します。



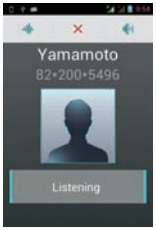
[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 22 2013-09-06 오후 5:54:

[方法2] CONTACTSの連絡先で受信者をタップすると詳細画面が表示されます。PTTボタンを長押したり、(グループ発信)をタップしてからPTTボタンを押します。





PTTの受信



1. 「ピピッ」と鳴った後、無線通話を受信します。
2. 相手からの発信が終わってPress and hold to Talkになるとボタンを押して発信できます。

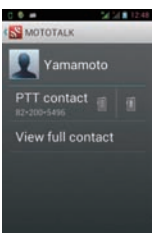
Press and hold to TalkについてはPTT無線通話の方法を参考にしてください。

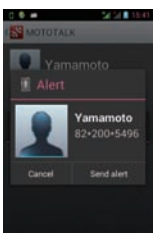
[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 23 2013-09-06 오후 5:54:

PTTの呼出

発信した時に受信者から応答のない場合には、呼出の機能で受信者を呼出します。

1) MOTOTALKー覧から呼出する





1. RECENTの通話履歴やCONTACTSの連絡先で受信者を選択して詳細内容を表示します。
2. をタップします。
3. Send Alertをタップします。
4. 「ピピッ」と鳴って呼出します。

2) 連絡先を選択して呼出する

CONTACTS一覧と同期化した連絡先ではMOTOTALKメニューが表示されます。

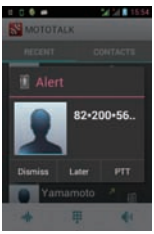
CONTACTS一覧と同期化する方法は自動同期化設定の内容を参考にしてください。

1. 連絡先で受信者を選んでタップします。
2. Alert contactをタップします。
3. Send Alertをタップします。
4. 「ピピッ」と鳴って呼出します。

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 24 2013-09-06 오후 5:54:

呼出の受信

1. **発信者から呼出されると「ピピピピ」と鳴って呼出の画面が表示されます。**



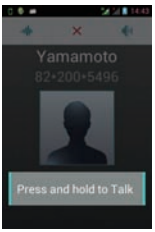
Dismiss：呼出を解除します。RECENT一覧に記録しません。

Later：呼出に応答はしませんが、RECENT一覧に記録して後で連絡するようにします。

PTT：呼出にすぐ応答して、PTTを受信します。

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 25 2013-09-06 오후 5:54:

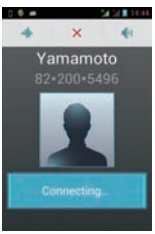
PTT無線通話の方法



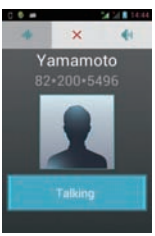
最初に発信する時、Press and hold to Talkが表示されると、PTTボタンを押して発信します。

通話をする時、相手が話を終えてPTTボタンを離した時に表示されます。

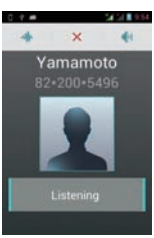
Press and hold to Talkの状態でPTTボタンを押した人が話せます。



Connectingが表示されるのは、相手が通話可能状態を準備している意味です。相手が通話の準備ができると、画面がTalkingに変わります。



Talkingが表示されると通話可能状態です。PTTボタンを押した状態で話します。この時、相手にはListeningと表示されます。



Listeningは相手が話している状態です。PTTボタンから指を離して声を聞きます。

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 26 2013-09-06 오후 5:54:

連絡先

A902の連絡先は、MOTOTALKのCONTACTSと連動して使用ができます。

MOTOTALKのCONTACTSと自動同期化

MOTOTALKのCONTACTSに登録した情報が自動的に連絡先にコピーされます。

1. 連絡先で を押すと、メニューを表示します。
2. アカウントをタップします。
3. 自動同期化にチェックします。

連絡先のインポート／エクスポート

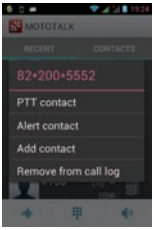
1. 連絡先で を押すと、メニューを表示します。
2. インポート／エクスポートをタップします。

連絡先の情報をMOTOTALKのCONTACTSにコピーできます。
MOTOTALKのCONTACTSの情報を連絡先にコピーできます。

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 27 2013-09-06 오후 5:54:

MOTOTALKの連絡先

MOTOTALKでのCONTACTSはMOTOTALKで使用する連絡先です。RECENT一覧でCONTACTSに登録する項目を長押しすると、次のように画面を表示します。



1. Add contactをタップします。
2. CONTACTSに登録します。

設定

ディスプレイやスリープモードなどシステム設定をします。

ディスプレイ設定

画面の明るさ

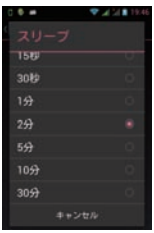
ディスプレイ＞**画面の明るさ**では画面の明るさのレベルを調節します。

画面の自動回転

ディスプレイ＞**画面の自動回転**を設定すると、縦／横画面表示を自動で切り替えます。

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 28 2013-09-06 오후 5:54:

スリープモード



スリープモードは、一定時間まで操作が行われない場合に自動で画面のバックライトが消灯する機能です。

1. ディスプレイ＞スリープをタップします。
2. スリープモードの時間を選択します。

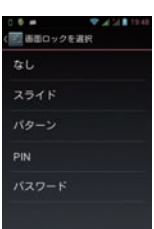
フォントサイズ

ディスプレイ＞**フォントサイズ**では、画面に表示されるフォントサイズが設定できます。

セキュリティ

セキュリティにかかわる設定をします。

画面のロック



1. セキュリティ＞画面のロックをタップします。
2. 画面のロック方式を選びます。

なし	画面のロックを設定しません。
スライド	ロック画面で矢印方向にスライドします。
パターン	ロック画面で設定したパターンでスライドします。
PIN	設定したPIN番号を入力します。
パスワード	設定したパスワードを入力します。

パスワードとPINは4桁以上で設定します。

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 29 2013-09-06 오후 5:54:

自動ロック

スリープモードに進入して画面がロックする時間が変更できます。

1. セキュリティ> 自動ロックをタップします。
2. 自動ロックの時間を選択します。

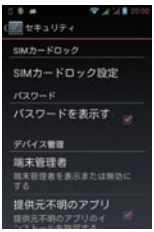
電源キーですぐにロック

電源キーを押すと、画面ロックするかどうかを設定します。

画面ロックの設定により表示される項目が異なります。

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 30 2013-09-06 오후 5:54:

パスワード表示

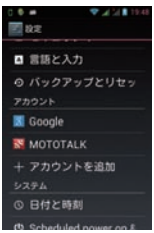


パスワード入力時に文字を表示するかどうかを設定します。

1. ディスプレイ> スリープをタップします。
2. スリープモードの時間を選択します。

リセット

本製品をリセットすると、全てのデータ、及びアカウントなどが削除され、本製品はお買い上げ時の状態に戻ります。必ず本製品の重要なデータをバックアップしてから、リセットしてください。



1. 設定＞バックアップとリセットをタップします。
2. 自動復元のアプリを再インストールする際に、バックアップした設定とデータを復元するにチェックします。

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 31 2013-09-06 오후 5:54:

製品仕様

OS	Android4.1.2 (ジェリービーン)
CPU	Dual Core (1GHz)
Memory	ROM:4G
Flash	Max : 32G
画面	3.2 ″HVGA RGB
解像度	320 * 480ピクセル、サポートTFT 262K色
Bluetooth	サポート(BT 4.0)
GPS	サポート
イヤホンポート	3.5mm
IP保護レベル	IP68相当
機器寸法	124 x 68.5 x 24 mm
機器重量	174.8グラム(バッテリー除外)

仕様および外観は予告なく変更することがあります。

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 32 2013-09-06 오후 5:54:

MEMO

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 33 2013-09-06 오후 5:54:

j.mobile

株式会社 J-Mobile
〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町7-13 洋和ビル6階
www.j-mobile.co.jp

[A902]_QIG_JP_130906_V3.0.indd 34 2013-09-06 오후 5:54: